

平成29年
7月15日号
広報
No.576

あきる野

主な記事

- ・ 8月5日出第15回あきる野夏まつり…2面
- ・ 高額介護サービス費の上限額が変わります…3面
- ・ 小学生親子手話教室 親子で楽しみながら手話を学びましょう…5面
- ・ ハッピーベビークラブ平日コース…8面

子どもの笑顔を守るために

市では、安心して子どもを産み育てられるまちづくりに取り組み、妊娠期から出産、子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行っています。



あきる野ルピア2階の子育て支援拠点施設の愛称が「あきる野子育てステーション こころの」に決まりました

「こころの」の窓口では、ワンストップで子育ての支援が行えるよう、保育園・幼稚園や医療機関など、関係機関との連携を図りながら、さまざまな支援を行っています。

今後は、「子育てひろば」や「乳幼児一時預かり室」を整備し、子育て支援事業の拡充を図るとともに、公立阿伎留医療センター敷地内の「病児・病後児保育室」の整備など、更なる充実を図っていきます。

※「こころの」とは、子育て世代の方と子育て支援拠点施設を結ぶ『こころ』と、いつでも『ここ』に来てほしいという言葉に、子育てを支援する『あきる野』を合わせたものです。

「こころの」ってどんなところ？

妊娠・出産期

保健師などが、妊婦面接を行い、母子健康手帳を交付します。また、妊娠・出産・子どもの健康など、さまざまな疑問や心配事について、相談・支援を行っています。

子育て期

「育児ができるのか不安」「子どもとの遊び方が分からない」「市内の子育てサービスを知りたい」などの総合相談をお受けしています。

子育て期の親からの仕事の相談

あきる野創業・就労・事業承継支援ステーション「Bi@Sta」と連携し、子育てと仕事の両立が図れるよう支援しています。

子育て総合支援サービスのイメージ図

- ・ 安心して出産・子育てができるよう支援
- ・ さまざまな悩み事に対する相談に対応
- ・ 子育て支援につなげるコーディネートなど

情報提供・サポート



- ・ 育児ができるか不安
- ・ 子どもとどうやって遊べばいいのか分からない
- ・ 市内の子育てサービスを知りたい
- ・ 子育てが辛い など

相談・問合せ

○あきる野創業・就労・事業承継支援ステーション「Bi@Sta」
(あきる野ルピア2階)
(☎518-7778)



子育て中などの方で仕事を探したい方も利用できます。



○病児・病後児保育室



子どもが病気などで一時的に預けたい場合に利用できます。
(平成30年4月、公立阿伎留医療センター敷地内に開設予定)

「あきる野子育てステーション こころの」

○受付日時 月曜日～土曜日(第3水曜日、祝日、年末年始を除く) 午前10時～午後6時30分

○場所 あきる野市秋川1-8 あきる野ルピア2階

○問合せ 子ども家庭支援センター子育て支援事業係 (☎550-3361)、健康課母子保健係 (☎550-3340)

世帯と人口

—平成29年7月1日現在—

世帯 35,067世帯(前月比 2世帯増) 人口 81,162人(前月比 38人減) 男 40,534人 女 40,628人

広報あきる野は、毎月1日と15日に新聞折込と個別配布でお届けしています。市内に住所があり、折込対象の新聞を購読していない方は、市に個別配布をお申込みいただければ、無料でお届けします。また、市のホームページでもご覧になれます。詳しくは市長公室にお問い合わせください。

再生紙を使用しています